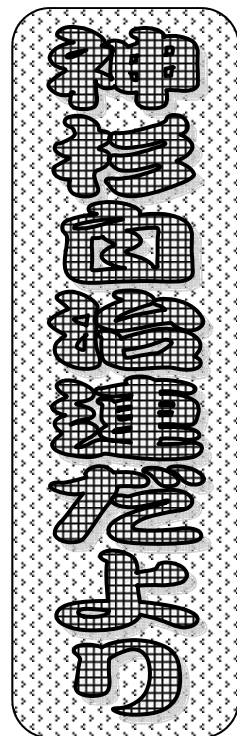


第14回神杉大田植実行委員会開催



二月五日(火) 神杉地区自治会連合会の年間三大行事の一つである第十四回神杉大田植実行委員会が発足した。

開会の挨拶で有田自治会連合会長より昨年より取組中のコミュニティセンター改築促進に対し、多くの地区内外の皆様にご協力いただき、現在千百五十七名と二十二団体長のご署名を頂いていると報告、お礼の言葉がありました。協議事項ではまず、開催要項について協議し次の通り決定した。

第十四回神杉大田植開催要項

一、目的 神杉三大行事の一つとして、「神杉大田植」を行うことで、神杉地区における稲作文化の伝統を、子どもから大人で追体験を行い、先人の知恵と苦勞を認識することで、今があることへの感謝と、将来への「夢」と「ビジョン」を創造する機会とするとともに、地域の絆を深める場とする。また、広く地区外へも働きかけ、特産物

神杉地区
自治会連合会
TEL 66-1323
発刊 2019/2/12
1月末(前月比)
人口 1,531(▽1)
世帯 595(0)
ホームページ
<http://kamisugi-m.com/>



のPR等で生産農家と消費者との交流体験を図り地産商品の生産・消費の拡大を行い地域の活性化を図る。併せて、子ども達へ伝承を行うことで、郷土愛を抱いて将来への展望に寄与する教育の一助とする。

- 二、主催 神杉地区自治会連合会
- 三、主管 第十四回神杉大田植実行委員会
- 四、後援 三次市・三次市教育委員会・三次市観光協会
- 五、期日 六月九日(日) 雨天決行
- 六、場所 三次市高杉町二七七八
- 七、植付品種 タンチョウモチ
- 八、行事内容

- (1)基本行事①大田植
 - ②体験田植え
 - ③交流田植え
 - ④代みて行事
 - (2)関連行事①写真コンテスト
 - ②もち米販売予約
 - ③交流バザー
 - (3)その他
 - ①早乙女と一緒に写ろう
- (顔出しパネル設置)

その後実行委員会役員を選出に移り全員の総意により次頁の通り決定した。

尚、今後のスケジュールは次の通りです

- 二月中 各専門部会開催
- 三月上旬 総務・各部会代表者合同会議
- 三月中旬 総務部会
- 三月下旬 実行委員会議
- 四月以降 内外PR開始
- 五月下旬 正副部長・事務局合同会議
- 六月九日 第十四回神杉大田植(前日準備有)

そして、専門部ごとに分かれ部長・副部長を選出し次回の各部会開催日を決め散会した。今年も岡山からツアー客が来場予定です。皆さまの積極的な参加を期待しています。



第14回神杉大田植実行委員会

(平成31年度)

実行委員長	林 俊之	会長	有田 雅俊
副実行委員長	山口 浄	事務局	有田 新治
事務局 局長	内藤 隆弘		日高 康雄
事務局 次長	新祖 光敏	庶務	梶田 智恵美

実行委員

所属	氏名	備考	所属	氏名	備考	
1区	新田 衆治	イベント部長	地区社協	松田 敏昭	圃場部長	
2区	豊高 弘有	総務部	女性部	久藤 ともえ	イベント部	
3区	森藤 孝雄	広報部副部長	老人クラブ連	向井 一彦	サゲ部	
4区	小田 義則	圃場部	小学校	津田 武子	総務部	
5区	守本 秀樹	圃場部	JA 東部支店	垣内 啓靖	総務部	
6区上	井上 和章	イベント部副部長	公衛協	平岡 末夫	総務部	
6区下	北村 晋三	イベント部	交通安全協会	倉沢 亮徳	兼	
7区	山崎 大輔	総務部副部長	ボランティアの会	黒瀬 洋	総務部長	
8区1	横山 健吾	広報部部长	よいところ振興 保存会	向井 一彦	兼	
8区2	茅野 美穂	総務部		横山 健吾	兼	
9区	前田 福秀	サゲ部	農産組合	福田 造治	圃場部	
10区	倉沢 亮徳	圃場部	圃場権者	松田 敏昭	兼	
11区	横永 利明	イベント部	技能保持者	林 俊之	サゲ部	
12区	山森 龍成	広報部		前原 豊	アトラクション部長	
13区	丸岡 恒晴	イベント部		寺本 稔	サゲ部副部長	
14区上	児玉 祭典	広報部		向井 一彦	兼	
14区下	廣信 和彦	イベント部		林 哲則	サゲ部	
15区	広信 真二	広報部		中藤 博文	兼	
16区	竹廣 敏秀	広報部		中山 正道	兼	
17区	福谷 博	広報部		中山 百輔	サゲ部	
18区	中野 邦昭	イベント部		戸田 博敬	総務部	
19区上	中藤 博文	サゲ部長		草川 千市郎	サゲ部	
19区下	小玉 重好	圃場部		福田 憲二	圃場部副部長	
20区	徳政 剛	圃場部		広信 勝則	圃場部	
21区	肥田 ゆかり	総務部		(JA 営農指導員)	圃場部	
22区	中山 正道	サゲ部		よいところ保存会	アトラクション部	
23区	角矢 活人	圃場部		有志協力隊	内藤 隆弘	事務局 局長
24区	佐藤 信二	圃場部			福田 博明	総務部
自治会 連合会	有田 雅俊		福島 義彦		アトラクション部	
	新祖 光敏		山根 雅晴		圃場部	
	山口 浄		三原 和美		広報部	
	有田 新治		久保 誠		圃場部	
	日高 康雄		竹口 実男		広報部	
	梶田 智恵美		(地域応援隊)	総務部		

一月二十三日 本年最初の
わくわく講座 開催

同講座は六月の開講式をスタートに三月までの年間十回その名のごとく「わくわく」しながら知識と教養を学び親睦を深めあう講座です。今回は三良坂町の正法寺住職 小武秀道さんによる「仏様と歩く道」と題して講演いただきました。

法話と言えば型ぐるしく感じていましたが、このお話は笑いの中に仏さまを感じる講演となりました。

次回講座は次の通りです

日時 二月十三日(水)午後一時半

場所 二階 講座室

講師 神杉郷土誌編纂委員

山田幸三 様

内容 「神杉の百姓一揆」です。



ご期待ください。
講座生のみならず
一般参加も大丈夫
です。
お待ちしております。

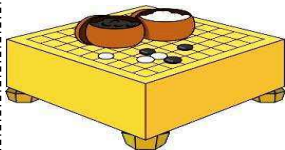
神杉地区囲碁大会開催

去る、一月二十七日(日)神杉コミュニティセンターにおいて歴史ある第63回となる囲碁大会を開催した。

大会は九名の参加者による総当り戦で行われ、和気あいあいのなか、結果は五勝一敗の勝率八割三分で昨年に続き次の方が優勝に輝かれました。

優勝 四区 松田 弘毅 様

おめでとうございます。



神杉地区親善球技大会開催予定

スポーツ振興部会では本年も冬場の健康増進と世代間交流を図る事を目的に、次の通りソフトバレーボール大会を実施します。

とき 二月十七日(日)

九時開会

ところ 神杉小体育館

試合方法 くじ引き編成チームでの総当り戦

表彰 個人表彰のみ2名

ソフトバレーは誰でも出来ます。お申込は不要です。当日おいでください。

参加賞を準備してお待ちします。



入場無料

第4回空家等対策後援会

後悔しない実家の片付け術

「カツオが磯野家を片づける日」と題して次の通り講演会が実施されます。

親と離れて暮らす人に迫りくるリアルな現実、「実家の片づけ」。

磯野家の長男・カツオはいかに問題に取組み、解決していくのか！

【カツオが磯野家を片づける日】の著者であり、空家、片づけに関する情報を発信し続ける講師、渡部亜矢さんに「実家の片づけ」について解説していただきます。

日時 平成三十一年二月二十四日

午後一時半～午後三時

場所 十日市コミュニティセンター

主催 三次市 都市建設部 都市建設課

設課

お問合せ

〇八二四・六二・八五〇一

★ 現住者としても「片づけ」のヒントになると思います。

愛の灯

神杉地区社会福祉協議会へ
平成三十一年一月一日から
一月末日までに、次の方
からご寄付が寄せられま
した。

《見舞い返し》

〇十七区

中井 治人
姚 様

紙面をおかりしまして衷心
より厚くお礼申し上げます



「第30回 R54-WALK大会開催」参加者募集中

春の歴史街道 R54
を歩こう

をメインテーマに R
54 実行委員会では青少
年の健全育成の立場か
ら「歩きぬく」ことを
通して喜びと感動を得
る事を目的に次の内容
で開催されます。

記

期日 三月二十四(日)

午前八時三十分

コース みよしまちづ

くりセンター↓布野生

涯学習センターまで

参加対象者

小学校一年生以上

参加費 五百円

お申込 小中学校・コ

ミュニティセンター

なお、この大会は、
今大会をもちまして最
後となります。

2月3月自治連行事

2月

- 12(火) 広報紙配布
- 13(水) わくわく講座
- 16(土) 東部地区文化交流会 和田小学校体育館
- 17(日) 東部地区文化交流会 和田小学校体育館
神杉地区親善ソフトバレーボール大会
グランドゴルフ月例会
- 18(月) 市県民税申告相談受付 1区~14区
- 19(火) 市県民税申告相談受付 15区~24区
- 20(水) 神杉自治連建築要望書提出
- 23(土) 給食サービス

3月

- 2(土) おたのしみ会
- 9(土) おひとり暮らしの方友愛訪問
- 10(日) 一斉清掃
- 11(月) 広報紙配布
- 24(日) R54-WALK大会

山脈俳句会(一月)

児ら唄いほのかに揺るる聖夜の灯 広川 テル子
竹酒や噛みしめながらとんど焼き 山下 郁子
ありがたく年を祝いて子や孫と 上坂 ハルカ
春風や癒し癒され孫の笑み 中藤 博文
竹の葉の黒く飛び交うとんど焼き 加藤 茂夫

編集後記

大田植の会議があ
った。継続は力なり
と云う。自治連の行
事が正にこれにあ
る。一方で同じ行事
はマンネリ化と話が
出る。

如何に対応するか
思案のしどころだ

行事を止めるのは
簡単だしかし一度止
めた行事を復活させ
るのは倍以上の力が
いる。

早いもんで今年も
田んぼの肥料が来た

(康)